

畜産人材育成研修生 2 名が研修を終え、担い手へ

当センターでは、府内で畜産業に携わる人材を育成するため、令和2年度から畜産人材育成研修を行っており、3月13日(水)に、酪農を志望する第3期生2名が2年間の研修を終え巣立ちました。

研修生は、1年目に基礎的知識を身に着け、2年目には搾乳牛とその産子の飼養管理を任せられ、実践力を身に着けました。1名は府内酪農法人に就業し、もう1名は酪農関連企業への就業に向けて準備をしており、京都府の畜産の未来を支える担い手として活躍されます。

当センターでは、研修修了後のきめ細やかな伴走支援を行うこととしており、新たに入講する研修生の育成と合わせて、畜産人材の基盤強化に努めます。



修了式後関係者一同で



研修を終えた第3期生の2人